

令和5年度 第1回 蕨市介護保険運営協議会 議事録

日時	令和 5 年 10 月 18 日（水） 午後 1 時 30 分～2 時 45 分									
場所	蕨市役所 2 階 2-1 会議室									
出席委員（敬称略）										
会長	濱口	豊太	佐原	勝治	西牧	修也	服部	浩子	鈴木	陽子
副会長	小山	祐康	大須賀	美雪	庄	喬	熊谷	修作		
事務局：健康福祉部 健康長寿課										
課長	加藤	晶大	課長補佐	平井	典子	係長	村山	雄輝		
係長	長谷川	咲子	主事	秋山	晃樹					
傍聴者 なし										
会議次第										
1. 開 会										
2. 会長あいさつ										
3. 議 題										
・ 令和 4 年度介護保険特別会計決算について										
4. 副会長あいさつ										
5. 閉 会										
配布資料										
「資料 1」 令和 4 年度介護保険特別会計決算のフレーム										
「資料 2」 令和 4 年度計画値と決算額の比較【標準給付費】										
「資料 3－1」 令和 4 年度介護保険料収納状況										
「資料 3－2」 令和 3 年度介護保険料収納状況										
「資料 4」 介護保険給付費準備基金残高										

「資料５－１」総括表 標準給付費

「資料５－２」総括表 地域支援事業

「資料６－１」第９期介護保険事業計画作成用 地域分析・検討結果

「資料６－２」第８期介護保険事業計画 サービス見込量の進捗管理（２枚つづり）

「資料７」第８期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価

議事録

1. 開 会	
2. 会長あいさつ	皆さまこんにちは。濱口でございます。この度はお忙しい中、蕨市介護保険運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。 今日は令和5年度の第1回ということで、令和4年度の会計についてご説明をいただいて、状況を確認していきたいと思います。 配布していただいた資料を確認すると、介護を必要とする方たちへの支援や、介護を受けないで済む期間を長くする予防策のために、市民の大切な資金がどのように分配されているかが見えてくるかと思います。 数字だけで判断できない部分もあると思いますので、委員の皆さまの現場での肌感覚や知識をお借りして、蕨市の介護保険について考えていければと思います。
3. 議題 介護保険特別会計 予算について	・令和4年度特別会計決算について資料1～7により事務局から説明の後、質疑応答
会 長	資料1について、夜間対応型訪問介護は前年比がありませんが、前年度は実績がなかったということでしょうか。
事務局	お見込みのとおり、令和3年度は実績がありませんでした。
会 長	資料3-1について、過年随時はどうような場合に発生するのでしょうか。
事務局	所得更正などによって過去の保険料が更正された場合に発生します。
会 長	給与天引きをされている側の感覚からすると、保険料は毎月支払うイメージなのですが、介護保険料は8回に分けて支払うのでしょうか。
事務局	前年の所得状況を把握してから納付通知書を7月に送付するため、7月末から翌年の2月末にかけて1年分の保険料を8期に分けて納付していただく形になります。
会 長	不能欠損とはどのようなものになりますか。
事務局	保険料が2年間の時効を迎え徴収ができなくなったものになります。現年度に関しては時効を迎えていないので、不能欠損額は0になります。
会 長	資料4について積立額に期限はありますか。
事務局	保険料の積立になりますので、期限はなく残ったままです。どこで繰り入れるかを検討する形になります。 第8期計画で約4億円繰り入れる予定でしたが、コロナの影響で想定よりサービス利用が少なく、給付額が少なかったため、その分積立が増えている状況です。全国的にもそのような状況だそうです。

	もちろん積立てばかりでは意味がないので、今後の給付費増加に合わせて、積立分は段階的に繰り入れていく予定です。
委 員	保険料を下げることに基金は使われるのでしょうか。
事務局	第9期計画では、もちろん給付費の見込みは伸びますので、それに準じて保険料が上がらないようにするために積立額を投入することを考えております。
委 員	2～3日前、全国で80歳以上の住民は10%くらいというのをニュースで見たのですが、蕨市ではどれくらいでしょうか。
事務局	蕨市では、令和5年9月1日現在で、80歳以上は8.02%、また75歳以上は12.78%です。 全国的に考えると、埼玉県全体で見ても、蕨市だけで見ても若い結果になっております。
会 長	資料6、7は次の第9期計画に反映させるものかと思いますが、そもそも第9期計画に向けて重要な点はどこだとお考えでしょうか。
事務局	現在、第9期計画を策定している段階ですが、前年度に市民を対象に行いました実態調査の結果として、在宅サービスを受ける方が増えていることと、単身独居が非常に多くなっていることがわかりました。そのため、施設系サービスというよりは、軽度者向けのサービスを増やしていくということと、そもそもフレイル状態ならないために予防の取組に力を入れていくことを、第9期計画に組み込もうと考えております。また、認知症の方がこれから増えていくと全国的にも言われておりますので、どういったことを行うかは検討段階ではありますが、認知症対策を計画に練り込んでいきたいと考えております。
委 員	令和6年は介護報酬改定が行われますが、懸念している事項や、大きく変わる部分がありますか。
事務局	介護報酬改定もそうですが、現在利用者の自己負担割合2割の枠を拡大するという介護保険法改定の話が議論されています。そうなりますと、被保険者の負担が大きくなり、サービスを満足に受けられなくなる懸念があります。 また、ケアマネジャー等の介護関係の人材が不足しているというのが全国的な状況です。蕨市としては全国と比べると、現状そこまで人材が足りない状況ではありませんが、人材不足になる前に1度手を打っておきたいと考えております。
会 長	障害者雇用のように認知症の雇用政策等を考えてもいいかもしれませんが。利用者側ではなく、生産者側に回することで、生きがいや認知症対策にもなりますし、介護のような人材が不足している事業に対しての1つの解決策にもなりえます。
委 員	資料7で、介護予防教室は45人しか参加しておらず、目標に達し

	ていないようですが、いきいき百歳体操の場で介護予防教室を行うなどの連携はしていないのでしょうか。
事務局	いきいき百歳体操と介護予防教室は別個に開催しておりますが、介護予防教室からいきいき百歳体操につなげていくという話はよくあります。ただ、最初の介護予防教室に参加される方が少ないのが課題です。
委員	周知方法等について、新たにやり方を検討しているとありますが、どのような案が考えられますか。
事務局	今年度では、からだ健康チェック会というのを新たに開催いたしました。からだ健康チェック会では簡単な測定を行い、健康状態を把握して、予防につなげていくというのが主な内容です。集客方法も考えまして、75歳の市民をピックアップして全員に勧奨通知を送ったところ反応が大きく、参加率もいっぱいになり、それなりの反響がありました。ただHPに掲載したくらいでは、高齢者には効果が薄く、窓口に置いてもそんなに見ていただけない。やはり個別通知を送るということ、一番効果があると実感いたしました。
委員	回覧板を利用するなど、もっと周知が広がればいいと思いました。私はケアマネジャーをやっておりますが、自分の利用者も参加しておりました。非常に良いことだと思いますので、もっとこういう事業があることを周知してくれると、自分の利用者に関してもメリットがあるなと感じました。
4. 副会長あいさつ	私の両親も88歳になり、父が要支援2、母が要介護1の介護認定を受けました。そういう状況になり、私も介護をより身近に感じるようになりました。 コロナ禍になって数年経ちますが、介護の認定者数もコロナによって少しバイアスがかかっているかと思います。今年の5月にコロナが第5類に移行になりまして、9月の半ばにピークを迎え、1週間に県内で7,000人になりました。そこから今は1,500人くらいに収まっています。今後このコロナ禍が収まるにしたがって、介護サービス、認定者数がどうなっていくのか、落ち着いていくのではないかと考えております。
5. 閉会	